

# 評価結果概要表

## 【事業所概要（事業所記入）】

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 事業所番号   | 3870105487      |
| 法人名     | 医療法人 福井整形外科・麻酔科 |
| 事業所名    | グループホーム杜の里      |
| 所在地     | 松山市鷹子町185番地1    |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月23日      |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS            |
| 所在地   | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成27年10月8日                |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当グループホームの基本理念である「あせらず あわてず あきらめず」「手の届く 目の届く 心の届く 生活を支援します」を大切に、職員が一丸となって利用者様と真の家族のような信頼関係が築けるように日々過ごしています。協力医療機関が母体である為に、日常的な健康管理に対してのバックアップも安心でき、最後までお付き合いができるように介護技術の向上を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

● 天気の良い日は散歩して近所の方とあいさつを交わしたり、時には事業所でできた野菜をおすそ分けすることもある。地域の敬老会や盆踊りに参加している。夏休みには、小学生のラジオ体操場所として事業所の敷地を提供しており、時には利用者も子供たちと一緒に体操をしている。引率の保護者が、自主的に庭の草引きをしてくれたこともあった。5月の「杜の里バザー」の際には、事業所内を解放し、掲示した利用者の暮らしの様子やイベント時の写真を見てもらった。

● 毎月、元職場の同僚の友人が迎えに来てくれて、外食することを7年間続けている利用者がいる。友人は、帰り際に来月迎えに来る日時を伝えて帰られるため、以前は、数日前からご本人に伝えて楽しみに待てるよう支援していたが、現在は、混乱する様子が見られるため、当日伝えて出かける準備の手伝いをしている。利用者のほとんどの方が母体医療機関へ週二回リハビリに通っており、院内では、顔馴染みになった患者さんから「お元気ですか」「調子はどうですか」等と声をかけてもらう。

## ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印                                        | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当する項目に○印                                          |
|-----|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>（参考項目：23,24,25）     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>（参考項目：9,10,19）    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>（参考項目：18,38）           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>（参考項目：2,20）                       |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>（参考項目：38）                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>（参考項目：4） |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>（参考項目：36,37）   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>（参考項目：11,12）                                        |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>（参考項目：49）                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                         |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>（参考項目：30,31）       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>（参考項目：28） | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                       |

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容を P R!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホーム杜の里

(ユニット名)

こもれび

記入者(管理者)

氏 名

村上 洋治

評価完了日

平成27 年 9 月 23 日

| 自己<br>評価        | 外部<br>評価 | 項 目                                                                           | 実践状況                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ )                                                                                              |
|-----------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>理念に基づく運営</b> |          |                                                                               |                                                                                                                     |                                                                                                                              |
| 1               | 1        | ○ 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所<br>理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有<br>して実践につなげている   | (自己評価)                                                                                                              |                                                                                                                              |
|                 |          |                                                                               | 職員全員が見やすいところに掲示し、把握はしているつもりであるが、職員全員が意識して取り組めていないと思うので、意識していけるよう工夫していきたい。                                           |                                                                                                                              |
| 2               | 2        | ○ 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる<br>よう、事業所自体が地域の一員として日常的に<br>交流している   | (外部評価)                                                                                                              |                                                                                                                              |
|                 |          |                                                                               | 開設当初、職員会で話し合っ「あせらず・あわてず・あきらめず(三つのあ)」「手の届く・目の届く・心の届く生活を支えます」と理念をつくっており、管理者は「利用者の笑顔を引き出すために、まずは、職員自身が笑顔でいるように」と話している。 | 理念は、日々ケアを実践していく上で拠りどころとなる基本的な考え方であり、職員が共有してケアに取り組んでいけるような仕組み作りが期待される。又、さらなるチームケアの実践に向けて、ご家族や地域の方にも理念を知ってもらえるような取り組みも工夫してほしい。 |
| 3               |          | ○ 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症<br>の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向<br>けて活かしている | (自己評価)                                                                                                              |                                                                                                                              |
|                 |          |                                                                               | 地域の人々に向けて発信は出来ていないように感じる。今後運営推進会議等を利用して、認知症の方についての理解が得られるよう努めて行きたい。                                                 |                                                                                                                              |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                          | 実践状況                                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 4        | 3        | ○ 運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)                                                                                                                     |                                 |
|          |          |                                                                                              | 運営推進会議では近況報告は必ず行っている。地域の方々の意見も頂戴しており、サービスの向上に活かしている。                                                                       |                                 |
| 5        | 4        | ○ 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (外部評価)                                                                                                                     |                                 |
|          |          |                                                                                              | 会議には、民生委員や市・地域包括支援センターの担当者等が出席している。地域包括支援センターの方から、「家族の参加が少ないので、毎月の請求書送付時に会議案内を入れてみてはどうか」とアドバイスがあり、さっそく案内をして、家族の会議参加につながった。 |                                 |
| 6        | 5        | ○ 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)                                                                                                                     |                                 |
|          |          |                                                                                              | 年に1回ミーティングにて身体拘束・高齢者虐待について勉強会を行っており、職員全員が把握して取り組んでいる。帰宅願望のある利用者様に対しても一緒に外へ出ることなどで気分転換を図っている。                               |                                 |
|          |          |                                                                                              | (外部評価)                                                                                                                     |                                 |
|          |          |                                                                                              | 10月末に身体拘束についての内部研修を実施する予定がある。今回は、職員数名が担当になり、管理者と相談しながら資料を作り、発表する予定になっている。                                                  |                                 |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|----------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 7        |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 虐待の防止の徹底<br/>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</li> </ul>      | <p>(自己評価)</p> <p>ミーティング時に虐待とは何かについて学ぶ機会を設けている。また、普段から学んだことを生かして職員同士が、自分たちのケアが、気付かないうちに虐待にあたっていないか確認しながら日々のケアに取り組んでいる。</p>                                                                              |                                 |
| 8        |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 権利擁護に関する制度の理解と活用<br/>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</li> </ul> | <p>(自己評価)</p> <p>ミーティング時に勉強会を開き、制度について学び、必要のある利用者に適切な制度を活用できるように支援している。</p>                                                                                                                            |                                 |
| 9        |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 契約に関する説明と納得<br/>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</li> </ul>                      | <p>(自己評価)</p> <p>契約前より不安や疑問を話していただけるような関係作りに努めている。合わせて、契約前には契約書を基に説明を行い相談を行なっている。契約後も、随時相談を受け付け不安点などについての、理解を図れるようにしている。</p>                                                                           |                                 |
| 10       | 6        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br/>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</li> </ul>                   | <p>(自己評価)</p> <p>来荘頂ける家族さんには、直接ケアプランを説明し、ご家族さんからの生の意見や要望を伺うようにしている。来荘が難しいご家族には文面にてケアに対する要望を頂いている。必要があれば電話連絡なども行なっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族から要望や意見を出してもらいやすいように、まずは、事業所から利用者の近況等を報告するよう取り組んでいる。</p> |                                 |

| 自己<br>評価           | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|--------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 11                 | 7        | ○ 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見<br>や提案を聞く機会を設け、反映させている                                              | (自己評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | 月に1回ミーティングを行っており、その際に話し合いを行<br>なえている。また職員の気になったこともその都度聞き入れ<br>ている。                                                                               |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | (外部評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | 粉薬を飲みにくそうにしている利用者の様子や排泄用品が<br>適当か等、職員は、利用者との日々のかかわりの中で気付<br>いたことを話し合いながら、ケアに取り組んでいる。                                                             |                                 |
| 12                 |          | ○ 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、<br>勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり<br>がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職<br>場環境・条件の整備に努めている      | (自己評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | 勤務体制は、個々の希望の休みに合わせたシフトを作成し<br>ており、出来る限り無理のないよう配慮している。また個々の<br>職員も季節の花を買ってきてリビングを明るくしたり、レクリ<br>エーションなど、利用者様のやりたいことを見つけるなどやり<br>がいを持って実践している職員もいる。 |                                 |
| 13                 |          | ○ 職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの<br>実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機<br>会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ<br>とを進めている          | (自己評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | 月に1回のミーティングでは勉強会の時間を設けている。ま<br>た外部からの講師も招き講習を受けている。外部の研修に<br>ついては、人員不足もあり、実施できていない。                                                              |                                 |
| 14                 |          | ○ 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する<br>機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互<br>訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ<br>せていく取組みをしている | (自己評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | 管理者や職員はグループホーム交流会に参加しており、他<br>事業所との交流を図れている。そこで意見交換や相談なども<br>出来ており、サービスの質の向上につなげていけるのではな<br>いかと感じるが同じ職員が行くことも多く、出来るだけ多くの<br>職員に行ってもらえるよう努めて行きたい。 |                                 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |          |                                                                                                             |                                                                                                                                                  |                                 |
| 15                 |          | ○ 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ<br>ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが<br>ら、本人の安心を確保するための関係づくりに<br>努めている        | (自己評価)                                                                                                                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                             | サービス提供前に利用者様としっかりと面談を行ない、不安<br>なく生活の場所が変われるよう努めている。またご家族などこ<br>れまでの関係者の方からも協力が得られるような連携作りを<br>している。                                              |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 16   |      | ○ 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>サービス提供前にご家族様とゆっくりと時間を取り、グループホームでの生活について希望や要望について話し合えるよう努めている。また入居後に面会に来た際には話を傾聴して関係を作れるよう努めている。                                                                                                                                                                                                                                               |                               |
| 17   |      | ○ 初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>サービス提供前にご家族様とゆっくりと時間を取り、グループホーム内のサービスだけでなく、リハビリ通院や理髪、歯科往診など必要なサービスが受けられるよう相談し、支援に努めている。                                                                                                                                                                                                                                                       |                               |
| 18   |      | ○ 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>職員が利用者様の中に入り会話をする等、利用者様主体となった生活ができるよう心がけている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                               |
| 19   |      | ○ 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>利用者様との会話の中で、ご家族の話も聞き入れている。またご家族に対しては手紙や面会時などに今の状況を伝えるようにしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                               |
| 20   | 8    | ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                  | (自己評価)<br>利用者様との会話の中で、馴染みの人や場所などの情報を聞き入れ、実際に友人の方と外食に出かけたりされている方もいる。またドライブで馴染みの場所を通ることで昔を思い出して頂ける様、支援している。<br>(外部評価)<br>毎月、元職場の同僚の友人が迎えに来てくれて、外食することを7年間続けている利用者がいる。友人は、帰り際に来月迎えに来る日時を伝えて帰られるため、以前は、数日前からご本人に伝えて楽しみに待てるよう支援していたが、現在は、混乱する様子が見られるため、当日伝えて出かける準備の手伝いをしている。利用者のほとんどの方が母体医療機関へ週二回リハビリに通っており、院内では、顔馴染みになった患者さんから「お元気ですか」「調子はどうですか」等と声をかけてもらう。 |                               |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>居室で過ごされる事が多い方など、できていない事もあるが<br>出てきた際には他の利用者様と一緒に玄関に出るなど、出来るだけ孤立しないように努めている。                                                                                                                                                                          |                               |
| 22                         |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>サービス提供中も玄関の飾り付けをして頂いてたご家族様があり、実際に退去後もご家族様のご希望もあり、飾りつけに来ていただいている。                                                                                                                                                                                     |                               |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |      |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                |                               |
| 23                         | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>24時間シートなどを活用し、希望や意向の把握に努めることが出来ている。希望を言いやすい環境づくりにも取り組んでいきたい。<br>(外部評価)<br>調査訪問日の昼食時、職員が「○○さん、今度外食するのですが、何か食べたいものはありますか?」と聞いている場面があった。利用者の方は、「かつ丼が食べたいな」と答えていた。介護記録は、利用者の生活の様子を記入する欄と、「願い・私が行ったこと・支援して欲しいこと」を記入する欄を設けており、会話内容や希望から利用者の意向や思いの把握に努めている。 |                               |
| 24                         |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>利用者様との会話の中で生活歴や馴染みの暮らし方などを聞き、把握している。またご本人に合った生活が出来るように努めている。                                                                                                                                                                                         |                               |
| 25                         |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>24時間シートや申し送りノートを活用し、1人ひとりの1日の過ごし方などを職員が把握できるよう努めているが、できていない事もあり、情報を共有できるよう努めて行きたい。                                                                                                                                                                   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                     | 実践状況                                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 26   | 10   | ○ チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価)                                                                                                                                                    |                                 |
|      |      |                                                                                                         | 月に1回職員でカンファレンスを行っており、利用者様の現状に即したケアが出来るよう利用者様の言葉や行動について話し合っている。ご家族が面会に来られた際には、ケアのヒントになりうる情報が得られるよう話を聞くようにしている。                                             |                                 |
| 27   |      | ○ 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | (外部評価)                                                                                                                                                    |                                 |
|      |      |                                                                                                         | 新たに、介護記録書式内に介護計画項目欄を設けて、日勤職員が達成状況をチェックする仕組みを作っている。記録に基づき毎月職員でモニタリングを行い、3ヶ月ごとの計画見直しにつなげている。利用者の中には、認知症の進行を遅らせたいと希望が出るような方もあり、ご家族と相談して日記を付けることを支援している事例がある。 |                                 |
| 28   |      | ○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | (自己評価)                                                                                                                                                    |                                 |
|      |      |                                                                                                         | 日々の様子は24時間シートや申し送りノートを活用し共有できているが、記録や引継ぎが抜けていることもある為充分に情報が共有できるよう注意していきたい。                                                                                |                                 |
| 29   |      | ○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | (自己評価)                                                                                                                                                    |                                 |
|      |      |                                                                                                         | ご家族の方にも相談しながら、利用者様の要望に応えられるよう支援している。洋服を一緒に買いに行ったり、昔良く行っていたところへ外食に行くなどご家族様の了解を得ながら支援している。                                                                  |                                 |
| 29   |      | ○ 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | (自己評価)                                                                                                                                                    |                                 |
|      |      |                                                                                                         | 地域の方々の協力を得ながら地域の行事に参加したり、近くのスーパーに職員と一緒に買い物に行ったりと毎日ではないが見守りを行ないながら楽しく暮らせるよう支援している。                                                                         |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                                                   | 実践状況                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○ かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | (自己評価)                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | 入居前から通っていた病院に定期的に通院している方もおられる。また必要に応じて往診に来ていただくなどご家族の了解を得ながら適切な医療が受けられるよう支援している。                                   |                               |
| 31   |      | ○ 看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                        | (外部評価)                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | 母体病院は24時間体制で対応しており、事務所には緊急時連絡方法を掲示している。服薬支援時には、職員が2人でご本人の薬に間違いがないか確認していた。                                          |                               |
| 32   |      | ○ 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | (自己評価)                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | 利用者様が入院された際には、安心して治療が受けられるよう、医療関係者との連携や相談を密にしていけるよう職員が十分に配慮している。                                                   |                               |
| 33   | 12   | ○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | (自己評価)                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | ご家族様とは入居した際に話をさせていただいている。また重度化して行く前にも話をさせていただいており、ご家族の希望に沿った支援に取り組んでいる。またその際には地域の医療関係者とも密に連携・相談を行い、支援していけるようにしている。 |                               |
|      |      |                                                                                                                      | (外部評価)                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | 看取り支援の希望については、入居時と看取りが必要になった時に確認している。1年前に看取りを支援した際には、看取り支援の経験がある職員がメインとなり、経験することが初めての職員に、状況に合わせたケア等を説明しながら支援した。    |                               |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                                                                                          |
|-------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34                      |      | ○ 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br><br>マニュアル等や勉強会にて理解はしているが、訓練などは定期的に実施していない為実践力は身についていない。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                        |
| 35                      | 13   | ○ 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br><br>半年に1回消防署の方の指導の下、利用者様や職員、地域の方々も一緒に避難訓練を実施している。また災害時のマニュアルも作成しており、空いた時間に見れるよう他のマニュアルと同様にファイルに挟んでいる。<br><br>(外部評価)<br><br>9月の夜間の火災想定避難訓練時には、消防署から、「避難時の職員の声掛けが少ない」「誘導する際には、もっと声を張った方がよい」等と意見やアドバイスがあった。職員からは、実際の避難の際には、「思っているような丁寧な介助で避難することはできないかもしれない」「2階から1階への避難が不安」と課題が挙がった。事務所には、ヘルメットやロープ、担架等が準備されているが、職員全員が、常備されている避難用用具については把握していない現状がある。 | 災害時に必要な物品については、避難訓練と併せて職員で把握できるよう取り組んでほしい。又、地域の方やご家族にも訓練に参加してもらって等して、一緒に防災について考えてもらってはどうか。課題解決への取り組みをすすめ、利用者がさらに安心して暮らせる事業所環境を整備してほしい。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                        |
| 36                      | 14   | ○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br><br>利用者様個々に合わせた声掛けをし、まずはご本人の言葉を受け入れ安心できるような声掛けが出来るよう対応している。<br><br>(外部評価)<br><br>できるだけ自分の力で更衣できるよう、職員は一度その場を離れ、少し経ってから様子を見に行くようにしている。脱衣場とトイレの入り口、洗面所が同じ場所のため、入浴時はカーテンを閉めて対応するようになっているが、時々閉め忘れることもある。管理者は、その場で注意を促す等している。ティッシュを取ろうとして手が届かない方に、他利用者が取ってあげるような場面が見られた。                                                                                |                                                                                                                                        |
| 37                      |      | ○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br><br>日々の会話の中で利用者様がしたいことを聞き、出来ることはして頂いている。また思いや要望を表現することが難しい方も多く、少しでも声や笑顔が引き出せるよう支援している。                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                        |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、<br>一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ<br>うに過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br><br>なるべく一人ひとりゆっくりと話をして対応したい思いはある<br>が、一律には出来ていない状況である。出来る限り利用者様<br>のペースも把握し大切に出来るよう努めている。                                                                                                                                                                            |                                 |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう<br>に支援している                                      | (自己評価)<br><br>散髪なども決まったペースでされている。洋服などもご家族<br>様が季節ごとに入れ替えに来て下さり、個々に合ったものを<br>着用されている。                                                                                                                                                                                           |                                 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好<br>みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に<br>準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br><br>好きな物を聞いて食べていただいたり、食べやすい物を献<br>立したりしている。おかずの盛り付けや野菜の下ごしらえなど<br>の食事の準備や後片付けなども手伝って頂いている。<br>(外部評価)<br><br>昼食後、利用者は、ご自分で下膳したり、食器拭きする様子<br>がみられた。又、テーブル拭きをお願いして、職員は、「○○<br>さんありがとうございます」とお礼を言っていた。白米が苦手<br>な方にはパン食にして、全体の食事量が増えたような事例が<br>ある。事業所の菜園で採れたナスや大根が食卓にのぼる。 |                                 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて<br>確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣<br>に応じた支援をしている          | (自己評価)<br><br>24時間シートを使い食事量や、水分量を確認している。食事<br>のバランスが取れるように献立票を作り活用もしている。<br>水分の不足している利用者には好みの飲み物をお出ししたり、<br>時間の間隔を空けながらこまめに少しずつ摂取して頂ける<br>ように支援している。                                                                                                                           |                                 |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、<br>一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔<br>ケアをしている                   | (自己評価)<br><br>毎食後、スポンジブラシなどを使い、口をすすぐことの出来<br>ない利用者も口腔ケアを行なえるようにしている。常に声掛<br>けするように心がけているが、自立した利用者の口腔ケアが<br>おろそかになっている事が多い。                                                                                                                                                     |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                      | 実践状況                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>利用者の表情や動きから、排泄の訴えのない方もトイレ誘導を行なっている。立位の取りづらい方も職員2人での介助を行い可能な限りトイレでの排泄を行なっている。24時間シートを活用し個々の排泄パターンなどの把握にも努めている。           |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br>おむつを常時使用した状態で入居に至った方について、職員の観察から「排泄前には動こうとする」等のサインがあることが分かり、トイレで排泄できるよう誘導する等、試しながら支援したケースがある。現在、昼間は、トイレで排泄ができるようになっている。 |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>水分状態や栄養状態を確認しながら便秘の原因を考えている。食事に食物繊維の多い食材を使ったり、入浴時等に腹部を中心としたマッサージを行なっている。                                                |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br>2,3日に一回は入浴出来るように体調を確認しながら支援している。個人個人の好みに合わせた入浴時間、温度で入浴を楽しんでもらえるように支援している。                                               |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>入浴に誘うと断る方には、無理強いせず、声かけするタイミング等を工夫して支援につなげるよう努力している。湯温等、個人の希望を把握して対応している。                                                |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br>入浴に誘うと断る方には、無理強いせず、声かけするタイミング等を工夫して支援につなげるよう努力している。湯温等、個人の希望を把握して対応している。                                                |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>利用者の体調などに合わせ、適宜居室で休んでもらうなどの対応を取っている。夜間も不安なく安心して休めるような声掛けを行うように心がけている。昼夜逆転状態にも留意し、昼間のかかわり方にも工夫を凝らしている。                   |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)                                                                                                                            |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                                           | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                           | (自己評価)<br><br>各利用者のお薬の説明書をファイルとして作っており、いつでも職員が閲覧できる場所に保管している。服薬と副作用について全職員が理解を深められるようにしている。また、知れた知識を共有できるようにも努めている。                                                                                                                                                            |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br><br>役割には偏りも見られるが、食器の片付けや家事手伝いなどを負担のかかり過ぎない範囲で手伝っていただいている。気分転換、リハビリを兼ねた体操、ボールを使ったレクリエーションなども適時行なっている。                                                                                                                                                                 |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br><br>気分転換を図る為の外出を行なうようにしているが、本人の希望通りにいかないこともある。ご家族の協力を仰ぎながら、ご本人の希望に沿った外出支援が出来るように努めている。<br><br>(外部評価)<br><br>利用者の重度化に伴い、全体的に外出する機会が減っていることを感じており、10月より事業所全体で、「月4回は、外出やレクリエーション等イベントを行う」ことを決め、ドライブや外食の機会を増やす予定がある。さらに、利用者主体の暮らしを支援するという視点からは、個別の希望も十分に採り入れた支援に工夫してほしい。 |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br><br>お金を本人が持つことの意義は理解しているが、希望通りに行かないことも多い。知人や、家族との外出時は本人にお渡しし使えるように支援している。                                                                                                                                                                                            |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                       | (自己評価)<br><br>希望があれば、電話をいつでも可能な限り掛れるようにはしている。利用者が手紙を書いた際は、ポストと一緒に投函に行ったり、職員が代理で投函を行ったりしている。                                                                                                                                                                                    |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                                                               | 実践状況                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)                                                                                                                            |                               |
|      |      |                                                                                                                                  | 玄関の飾りつけはボランティアで飾り付けに来て下さっている。リビングには季節の花などを飾っているが、整理整頓ができていない事が多いため、配慮していきたい。                                                      |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | (外部評価)                                                                                                                            |                               |
|      |      |                                                                                                                                  | テーブルの上には、庭のコスモスを活かしていた。利用者の中には、認知症の予防にと、新聞から気になる記事や出来事を選び、ホワイトボードに見出しやその内容を書く方がいる。居間には、小上がりの畳のスペースがあり、腰かけてテレビを見たり洗濯物たたみの際に利用している。 |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | (自己評価)                                                                                                                            |                               |
|      |      |                                                                                                                                  | 入居した際にご本人が使い慣れたものや好みの物を持っていただけるようご家族に依頼している。またホームで生活する中で必要な物はご家族と相談して利用者様と一緒に買い物に行くなど、居心地良く過ごせるよう支援している。                          |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | (外部評価)                                                                                                                            |                               |
|      |      |                                                                                                                                  | タンス、CDラジカセ、化粧品、アルバム等を持ち込み使用の方がいる。壁面には、ご家族の写真や、年賀状等を貼っていた。カレンダーに予定を書き込んでいる方もある。                                                    |                               |
| 55   |      |                                                                                                                                  | (自己評価)                                                                                                                            |                               |
|      |      |                                                                                                                                  | トイレの表示を作り掲示しているが、必要な方にはその都度声掛けして誘導している。トイレや入浴時の動作など、出来ることはして頂けるよう充分に見守りを行い支援している。                                                 |                               |